

次回ヒアリング対象・項目（案）

○ヒアリング対象

1. 製錬事業者（2社程度）
2. レアメタル専門メーカー（2社程度）
3. レアメタルユーザー（2社程度）

○ヒアリング項目

製錬事業者、レアメタル専門メーカー

<リサイクルシステムの経済性評価について>

- ・使用済小型家電の金属回収フロー（どのようなリサイクル原料（種類、状態、濃縮度合）をどのような設備で、どのような処理を実施して、どのような産物（品位・量）が得られるのか）及びリサイクル原料の投入原料全体に占める割合
- ・買い取りの対象となるリサイクル原料の買い取りの評価基準（ロット、価格等）
- ・使用済小型家電の金属回収に要する実操業ベースの費用・収益、うち有価譲渡できている鉱種とその品位・量等
- ・使用済小型家電の金属（鉱種別）回収における設備投資の必要性及び設備投資が必要な場合はその費用・回収期間

<リサイクルシステムの構築に向けた課題の整理について>

- ・使用済小型家電の金属回収について、既存制度との整合性（法律の遵守や弊害等）について検討が必要な点
- ・使用済小型家電の金属回収に関する中間処理事業者等との連携、意思疎通の状況や要望等
- ・使用済小型家電の金属回収について、①量及び②費用の観点から、効率化するための要望や考えられる施策（既存制度への改正要望、新たな金属回収技術の提案、対象品目・対象鉱種に対する提案等も含む）

（レアメタルユーザー）

- ・レアメタルの利用状況（鉱種、量、使用部位・部品等）、うちリサイクルされたレアメタルの利用状況（鉱種、量、使用部位・部品等）
- ・リサイクルされたレアメタルを原料として利用することができる条件（鉱種、量、原料単価等）
- ・天然鉱石のレアメタルの調達価格が今後一層高騰する場合の対応（リサイクルされたレアメタルの調達と代替材量へのシフトとの優先度合い等）
- ・使用済小型家電の金属回収について、①量及び②費用の観点から、効率化するための要望や考えられる施策（既存制度への改正要望、新たな金属回収技術の提案、対象品目・対象鉱種に対する提案等も含む）